

安 全 情 報

No 2 / 2017

けん銃使用による強盗殺人未遂事件が発生

1月12日(木)午後12時頃、カラカス首都圏スクレ市サンタ・エドゥビヒス地区のパン屋(パナデリア)において、駐車中の車を狙ったけん銃使用による強盗殺人未遂事件が発生しました。チャカオ市や同市周辺では、昼夜を問わず、強盗事件が多発しており、下記の情報をご参照頂き注意をお願いします。

記

1 発生日時

平成29年1月12日(木)午後12時頃

2 発生場所

カラカス首都圏スクレ市サンタ・エドゥビヒス地区のパナデリア「クエバ・デ・イリア」
駐車場内(ペスターナホテルから北に約100メートルの地点)

3 被害者等

ベネズエラ人男性 63歳(当地フランス大使館館員の私用車の運転手)

4 概要

被害者が、パナデリアにおいて買物を終え、駐車場に停めていた車に乗り込もうとしたところ、背後から近づいて来た二人組の犯人にけん銃を突きつけられ、車を渡すよう脅されました。被害者は、動転して抵抗したため、激情した犯人はけん銃を発砲し、被害者は右足に銃弾を受けました。幸い被害者は、直ぐに病院に運ばれたため命に別状はなく、また、偶然、同所を通りかかったスクレ警察のパトカーと通行人が、犯人をその場で逮捕しました。

5 注意事項

- (1) 比較的治安の良いチャカオ市やスクレ市西部でも、昼夜問わず、強盗事件が発生しているほか、その多くでけん銃が使用されています。抵抗した場合、発砲される可能性が高いことから、絶対に抵抗しないようにして下さい。
- (2) 強盗被害に遭った場合、直ぐに現金等を差し出せるように、見せ金や古い携帯電話を所持しておくことも有効です。
- (3) 路上や車内でスマートフォンを操作していると標的にされるおそれがあります。また、

犯人は、少しでもお金をもっていそうな外国人を狙う傾向にあることから、常に、周りから見られているという前提に立ち、目立つ行動は控えるようにして下さい。

(4) 深夜帯に入ると、薬物常習者が街頭に出てきます。彼らは、その薬の影響から簡単に発砲したりするため、極めて危険です。深夜帯は、強盗の件数は減少傾向にあるものの、身体への危険度は昼間帯よりも高まることから、外出を控えるようお願い致します。